

CSRストラテジー

UDトラックスは、さまざまな事業活動を通じて人と地球の「より良い暮らし」を実現することが当社の存在意義であり、事業の継続に不可欠であると考えています。CSRにおいても、社会の課題を解決し、社会インフラである「物流」の持続可能性を高め、豊かな社会づくりに貢献するという思いをビジョンとして定め、ステークホルダーの視点を重視しながら、ブレのない活動の展開をめざしています。

とくに、社会課題の解決を通じてステークホルダーと当社の双方に価値を生み出し、持続可能な社会をめざすCSV(共有価値の創造)の領域においては、「物流」「地域社会」にフォーカスすることによって、当社のもつ知見や専門性、人材や施設と

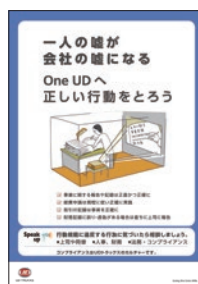
いった経営資源を社会に還元することをめざしています。さらに「物流」では、「環境」「安全」「人」という3つの重点エリアを定めることで、より具体的で実効性のある活動につなげています。同時に、すべての事業活動のなかで必ず実行すべきCSRを「基本的CSR」と定義し、コーポレート・ガバナンスやコンプライアンスの強化、ボルボ・グループの行動規範に基づく活動などを推進しています。

UDトラックスでは、全従業員に対して参画を促すことにより、会社と従業員が一体感をもって持続可能な社会の実現に取り組んでいます。



ボルボ・グループ行動規範

ボルボ・グループでは、法令を遵守し、倫理的にビジネスを遂行するために、世界中のすべての従業員が実践すべき基本原則や行動を「ボルボ・グループ行動規範」に定めています。UDトラックスでは、事例を取り入れた冊子やポスターを作成・配布しているほか、全事務職従業員を対象にしたeラーニングや、工場やディーラー拠点での管理職者によるトレーニングを実施するなど、全従業員の意識啓発に取り組んでいます。



ボルボ・グループ行動規範の周知を図るポスター

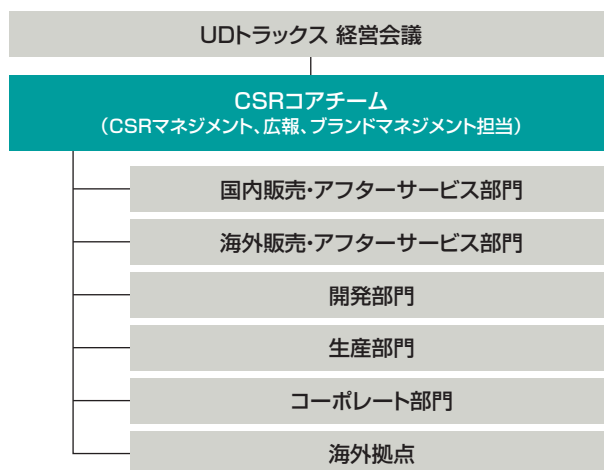


ボルボ・グループ行動規範

CSRマネジメント体制

CSRマネジメント担当が中心となり、CSRを推進しています。社内のさまざまな部門で取り組んでいるCSR活動に関する情報の集約やコーディネーションのほか、広報やブランドマネジメント担当と協力してコアチームを構成し、CSR戦略の策定など会社全体のCSRの枠組みや社内外への認知向上などについて検討しています。

また、全社で方向性の一致した活動を展開していくために、海外の拠点を含む各部門でCSR担当者を選任し、定例会議のなかで組織横断的な情報の共有や具体的な活動の企画・検討を行っています。さらに、経営会議において取り組みの進捗を報告し、経営層の指示・判断、承認を受けています。



コンプライアンス

UDトラックスは、「ボルボ・グループ行動規範」に定められた「お互いを尊重する」「公正かつ合法的にビジネスを獲得する」「事業活動と個人的な利害を切り分ける」「企業情報と資産を保護する」「透明性、そして責任感をもってやり取りを行う」という5つの重要な原則に則った事業活動に努めています。この「ボルボ・グループ行動規範」に定められた原則を周知するため、UDトラックスにおいては、経営幹部や従業員に向けて、法

令遵守のための研修やeラーニングなどを継続的に行っています。従業員の入社時はもちろんのこと、それ以外にも各々の担当業務に則した内容で随時実施しています。

また、コンプライアンス違反のおそれがある状況に適時かつ適切に対応できるよう、内部通報制度や監査体制を社内に整備しています。

リスクマネジメント

セキュリティ管理部門が中心となって、リスクマネジメントの強化に取り組んでいます。同部門の主な責務は、従業員およびビジターを対象とした職場の安全の確保や、事業に関する秘匿情報や資産の保護、緊急事態への対応、クライシスマネジメン

トおよび事業継続計画の策定、災害復旧の支援など多岐にわたります。

起こりうるリスクを想定し、未然に防ぐことによって、より安心・安全な事業環境の実現に取り組んでいます。

情報セキュリティ

ボルボ・グループの「セキュリティポリシー」に基づき情報セキュリティの確保に努めています。またこのポリシーを反映した情報セキュリティ・ガバナンスの構築を進めています。

具体的には、災害によるシステム停止を防止するために、本社と耐震性の高いデータセンターの2拠点で電子情報を運用・管理するとともに、外部攻撃などによる電子情報の漏洩防止対

策を強化しています。また、全国のディーラーを対象に情報セキュリティの強化に向けた教育を定期的実施しています。

これらとともに、UDトラックスはボルボ・グループの「プライバシーポリシー」に従い、個人情報の適正な管理・保護を徹底しています。